



新年あけまして おめでとうございます



昨年は、ご家庭や地域の方々には、大変ご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



新しい年が始まりました。令和6年3学期のスタートです。

今年辰年。一般的に辰年は変革や激動の年というそうです。架空の動物である竜(辰)は自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表し、これにちなんで変革や激動をもたらすということになったそうです。

過去には、東京オリンピックの開催、東海道新幹線開業、青函トンネル・東京ドーム・瀬戸大橋の完成、「ドラクエⅢ」の発売、BSデジタル放送の開始、2000円札の発行、東京スカイツリーの開業、京都大学山中教授がiPS細胞を発見しノーベル生理学・医学賞を受賞などがありました。そして、今年の7月には、20年ぶりに新デザインの紙幣が発行される予定です。

2023年は、新型コロナウイルスも5類になり、社会生活や学校生活にも活気が戻ってきました。2024年の辰年は、本校が創立150周年を迎える年でもあり、学校として活気のある年になると思います。子どもたちにも目標を立てて、その目標が達(辰)成されることを期待している旨の話を始業式にしました。子どもたちにとって、素晴らしい1年になることを願っています。

さて、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、3学期は1年の中で一番慌ただしく過ぎていく学期です。学校に来る日も50日を切っています。残りの日数で、それぞれの学年で付けるべき力をきちんと付け、次の学年へのステップとなるように、職員一同尽力して参ります。ご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、能登半島地震では、多くの方が被災されました。映像をみるたびに胸が痛みます。皆様のご親戚やお知り合いの方で被災された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

オンライン終業式・対面始業式

12月22日(金)、2学期最終日、感染症が流行していることもあり、各教室を繋いでのオンライン終業式を行いました。画面越しに子どもたちは、元気に手を振ってくれました。校長からは、「2学期一生懸命頑張る姿があった話」「国際人権デーで読み聞かせを行った話」「挨拶の話」など、2学期を振り返ってのまとめの話をしました。終業式の日、学校を去っていく子どもたちを見送りましたが、「さようなら」「よいお年を」と元気よく下校していく子どもたちの姿がありました。冬休みをととても楽しみにしているようでした。

年が明けて1月9日(火)、寒い朝を迎えましたが、体育館ではストーブを点けて、少しでも暖かく子どもたちを迎え入れようと準備万端。全校児童が体育館に集合し、3学期の始業式を行いました。体育館では、少し話し声が聞こえましたが、司会からの一声でシーンと静まり、式が始まりました。校長からは、「大谷選手からのグローブの紹介」「干支の辰年の話」「目標を立てて挑戦する話」をしました。明るい表情で、元気に挨拶してくれた子どもたち、メリハリをつけて全員静かに、最後までしっかりと話を聞くことができました。年の初めに、気持ちのいいスタートとなりました。



担任のメッセージに子どもたち反応

冬休み中に担任が子どもたちに向けて書いたメッセージを各学級の「クラスルーム」に掲載しました。子どもたちからは、1月4日(木)~8日(月・祝)まで見られるようになっていました。

メッセージを見た子は、「完了」のボタンを押して終了。中には、子どもたちに質問を投げかけ、回答を求めている学年や学級もありました。きっと子どもたちは、登校を心待ちにし、ワクワクしてくれていたことと思います。

この取組も3年目になります。毎年、学校全体の閲覧率が上がっており、本年度は約81%の子どもたちが閲覧してくれていました。3学期に登校する励みになったことと思います。

【生駒小学校にふるさと納税しませんか?】

生駒市のふるさと納税を通じて、希望の学校を指定して寄附していただけるようになりました。いただいた寄附金は、各校の教育環境の整備に活用されます。本校では、令和6年5月20日に150周年を迎えますので、関係の皆さまの温かいご支援をお持ちしております。

<問合せ先>行政経営課(内線4321)

<ホームページ>生駒市公式ホームページ→ふるさと納税サイト

(<https://www.city.ikoma.lg.jp/furusato/>)